

山梨英和130周年 歩みを冊子に

山梨英和学院は創立130周年を記念し、歩みをまとめたブックレットと過去10年間の歴史を記した記念誌を作成した。記念事業では7月から年末にかけて、企画展や講演会などを開く。

ブックレットはA5判60ページ。初代校長にはカナダ婦人宣教協会から派遣された25歳女性のウィントミュー

トが就任したことや開校式の様子を写真入りで紹介している。同校で教員生活を送り、「赤毛のアン」を翻

来月、県立図書館で史料展



創立130周年を記念して歩みをまとめた記念誌(左)とブックレット

記念事業として、7月16日から26日まで、甲府・県立図書館で、同学院が収集した史料などを展示する。明治期の成績表や生徒心得、

8月3日にはアフガニスタンで医療や農業の支援活動を行っている「ベシャワール会」の医師中村哲さんによる講演会、12月は合同クリスマス礼拝などを予定している。いずれも、甲府・YCC県民文化ホール。問い合わせは同学院、電話055(223)6012。

訳した村岡花子らゆかりの人物についても掲載。甲府空襲で焼失した歴史についても記している。記念誌(A4変形判、16ページ)には2009、19年の同学院の歩みを載せている。

会場ではブックレットを配布する。20日午前10時半からは東京女子大の小椋山

〈手塚美菜子〉